

切り札は「私自身」。 思うぞんぶん、熱意をぶつけよう。

京都大学は、高校での学修における行動や成果、および個々の学部教育を受けるにふさわしい能力ならびに志を総合的に評価する「京都大学特色入試」を全学部全学科で実施しています。重視するのは、学びへの強い意欲と熱意。あなたの高校時代の学びの経験、学問への思い、将来の夢という過去・現在・未来のすべてが、試験を突破する切り札です。一足先に京都大学の門をくぐった6人の先輩たちが、特色入試にこめた思いや経験、学びの現在を語りあいました。

出席者

- 1 森下 航平^{さん}
総合人間学部文化環境学系 3回生
- 2 佐々木 風美^{さん}
教育学部教育科学科 3回生
- 3 折笠 俊一郎^{さん}
理学部理学科数理科学系 3回生
- 4 倉場 康太^{さん}
薬学部薬科学科 2回生
- 5 徳田 駿^{さん}
工学部工業化学科 4回生
- 6 石田 早侑梨^{さん}
農学部資源生物科学科 2回生

進行

- 7 大澤 公一^{さん}
特定准教授
(高大接続・入試センター)

専門は教育心理学。心理統計学(テスト理論)の手法で入学試験などの学力測定や能力の評価方法の妥当性を分析。公平・公正なテストづくりに寄与する理論を研究する。

*掲載の選抜試験内容等は受験当時のものです。



大澤 京都大学を志望し、特色入試での受験を決めた皆さんの理由からお話いただけますか。

徳田 化学者になることが、子どものころからのぼくの夢でした。京都大学を選んだ決め手は、研究施設の充実度。すこしでも合格の可能性を高めたくて、一般入試と併願できる特色入試の受験を決めました。

石田 私も、チャンスを増やしたいという思いが動機でした。大好きな生き物を学び、その知見をとおして社会に貢献したい。この夢の実現に、どうしても農学部に入りたかった。

森下 私の興味は地理学。地理学を学ぶには、人文社会科学の領域だけでなく、自然科学分野の知識も必要です。文理を分けへだてなく広く学べる総合人間学部は、私には理想的な学部でした。

高校時代は、地学分野の課題研究に取り組んだり、地域活性化のプラン提案をしたりして、理系・文系の両面から地理や地域学に取り組みました。高校でのこういった経験から、総合人間学部の特色入試は私に合っていると思い受験しました。



森下 航平さん

総合人間学部文化環境学系 3回生
三重県 三重県立津高等学校出身

得意分野をしつかりと
解答できれば合格できる。
恐れずに挑戦を



*本座談会は、2回に分けて実施しました。原稿は内容を再編集したものです。

佐々木 自宅の書棚にあった京都大学の先生の著作を読み、「京大はおもしろそうな場所だな」、「やりたいことができそう」と憧れを抱いたのがきっかけです。それに、私の趣味は文章を書くことで、教育学部の選抜には小論文が課せられています。学力試験のように用意された答えを導き出す作業もおもしろいのですが、のびのびと考え表現した言葉を評価してもらえる入試方法にも魅力を感じました。

大澤 折笠さんは理学部に合格されました。理学部は、数学だけの筆記試験。特殊な入試ですが、いかがでしたか。

折笠 難問が出題されることや、募集人員は5人だけということも、もちろん知っていました。合格はむずかしいとは覚悟していましたが、大学入学以降に学ぶ数学もすこし勉強していたし、好きなだけに挑戦しがいがあると燃えました。

倉場 私も、特色入試なら自分の特性を活かせると考えました。筆記試験は苦手でしたが、課外活動や課題研究には精力的に取り組んでいました。人と話すことが好きなので、面接試験で自分という人間を表現できる自信もありました。

大澤 特色入試は、自身の適性や能力を広く発揮できる機会でもあるのですね。

対策よりも、どう自分を表現し、 ぶつけられるかが決め手

大澤 試験にむけて、どのような準備をしましたか。

折笠 筆記試験は、ホームページから過去問を入手して対策しました。面接試験の準備は高校の先生に協力いただきました。面接での質問項目は推測できませんから、聞かれたことにその場で対応できる準備はくり返しました。

倉場 薬学部も、筆記試験と面接試験です。筆記試験の過去の問題はホームページに掲載されていますが、答えは掲示されていません。たくさんの年度にわたって数多く解くよりも、1年ぶんの過去問にしばり、出題意図を分析することに注力しました。高校の先生と相談しながら、受験生にどのような能力を求めて



佐々木 風美さん

教育学部教育科学科 3回生
宮城県 宮城県仙台二華高等学校出身

合格基準点に
達していたかではなく、
自分を出せたかで勝負

いるのかを問題から読みとることに向きあいました。

オープンキャンパスなどでは、学部の求める学生像が語られます。面接試験では、それに沿って自分の個性・特性を説明できるよう準備しました。筆記試験は手ごたえ充分でしたが、面接は厳しい質問に真っ青(笑)。しかし、ふたを開けてみると、筆記試験よりも面接試験の点が高かったことに驚きました。

大澤 試験は「水もの」ですし、その人の真の力は自分でも意外とわからないものです。折笠さんも倉場さんも、高校の先生が心強い味方になってくれたのですね。

石田 農学部は6つの学科ごとに試験が違います。私の受けた資源生物科学科の一次選考は事前に提出した将来の「学びの設計書(以下「設計書」)」の書類審査、二次選考は面接。一次選考で多くの方がふるい落とされると知って、「設計書」の執筆に注力しました。将来なにをしたいかを深く掘りさげましたから、面接でもよい反応がありました。

大澤 3回生、4回生の皆さんはいかがですか。

徳田 特色入試は特別な人が受ける試験だろうと、最初は気に留めていなかったのですが、3年生の夏ごろに高校の先生に勧められて準備をはじめました。「設計書」は先生がたに推敲をお願いし、なんども書き直しました。二次選考はセンター試験での選抜です。一般入試の対策もしていましたから、これはとりわけ意識しませんでしたね。

森下 私も一般入試を併願する予定だったので、あくまでも一般入試の対策に時間を多くさいて、特色入試は合間を縫って準備する程度でした。

佐々木 なるべくたくさんの先生に「設計書」を見てもらうようにしました。「設計書」を前に雑談しながら、それぞれの先生の専門知識を覚えてもらったことは、興味・関心を広げるうえでもよい機会でしたね。

大澤 試験の手ごたえは感じられましたか。

石田 面接試験では、質問の厳しさと緊張で納得のゆく返答ができず、涙が出るほど落ちこんで帰りました。合格と聞いたときは信じられませんでした。



折笠 俊一郎さん

理学部理学科数理科系 3回生
神奈川県 聖光学院高等学校出身

気負わずに、
リラックスして
試験を楽しんで

過去問から
「求められている力」を分析。
全力で力を発揮しました



倉場 康太さん
薬学部薬科学科 2回生
大阪府 高槻高等学校出身

徳田 「合格できたらラッキー」というくらいの認識だったので、出願書類の提出後は気持ちを切り替えて、一般入試の対策に移りました。でも、「設計書」を書いたことで将来設計が明確になりましたし、得るものは大きかった。

佐々木 特色入試は、自分を思いきり表現した文章や解答を見て、大学側が向き・不向きを判定するものだろうと考えて臨みました。小論文試験では、これまでに書いた文章のなかでいちばん自分らしい文章を書くことと決めていました。だから、合格基準点に達していたかではなく、自分を出せたかどうか。この点では、手ごたえは充分でした。

森下 総人では、文理両方の問題が出題されます。文系選択の私があまり学ばなかった数学Ⅲまでも出題範囲に含まれていました。実際、数学Ⅲの問題はほとんど解けませんでした。理系問題のなかに高校時代の課外活動とたまたま近い分野の問題があり、得点に結びつきました。文系でも、得意分野をしっかり解答できれば合格できる。このことは、後輩たちにも大きな声で伝えたいです。

大澤 過去問の対策は必要だと思いますか。

森下 時間配分や問題の核心の把握には有効です。ただ、並行して一般入試の準備をすることを考えると、特色入試の対策に力を入れるのは案外むずかしい。特色入試は、その人自身のほんとうの力が問われると感じましたね。

学べば学ぶほど増える選択肢を楽しむ

大澤 入学後に学びたいことや将来の展望を書き記す「学びの設計書」は、ほぼすべての学部で提出が必要です。でも、あくまでも高校生が書いたものですから、大学での学びを経験して、当初の興味や関心に変化したということはありませんか。

石田 「設計書」には土壤管理の研究をとおして、持続可能な農業の実現に貢献したいと書きました。しかし、大学で学び、興味をもったのは土壌に住む微生物。同じ土壌が対象ですが、物理化学的な側面ではなく、生物学的側面に関心が移りました。

それでも、国際貢献がしたいという基軸は変わりません。

折笠 勉強すればするほど、あれもこれもがおもしろくなって、あえて分野を絞らずに学んでいます。高校生のころは、一つの分野を究めることが研究だと思い込んでいましたが、視点を多くもつことで広がる世界もある。もうしばらくは縦横無尽に学んで、それから専門分野を決めたいと考えています。

大澤 学びを重ねるほどに、アンテナも広がりますね。

倉場 薬学部への入学当初は、患者さんとの距離が近く、研究成果の見えやすい臨床研究を志望していました。でも、入学後に体感したのは、京大の基礎研究へのこだわり。みずからの興味や問題意識を追究する先生方の姿勢には、刺激を受けます。私も気持ちに正直になって、基礎的な分野を追究してみたい。

徳田 高校時代に描いていた化学の姿は、書籍などから得るもの。大学では、世界の最先端、本にすらなっていない知識に触れる。初めて知る化学の一面に、なんども心を震わせました。関心のある分野は変わっても、化学研究者になる思いはぶれていません。むしろ強まっています。

佐々木 「設計書」には具体的な職業名をあげて、「この学問分野に興味があるから、この職に就きたい」と、一直線の矢印を思い描いていました。いまも興味は変わりませんが、矢印の先は一つではないと知り、いまは模索している最中です。

森下 入学前は、数値やデータの解析など、客観的に地域づくりを分析する理論や技術を学びたかったのです。そうした知識も学びましたが、実際に地域を訪ねて気がついたのは、自分の感覚で地域を感じる重要性です。地域の方との交流のなかで理解できることも多く、地域づくりには地域の方とともに模索することが不可欠だとも知りました。フィールドワークや対話を重視する京都大学だからこそ、学べたことだと思います。卒業後も地域に根ざした活動をつづけるつもりです。周囲には官僚や大手企業をめざす友人もいます。地域を訪ねて感じるのは、政府や行政などの〈中央〉の影響。中央と地方とのあいだに立って、双方の意思疎通をはかれるような人になりたいです。



徳田 駿さん
工学部工業化学科 4回生
石川県 石川県立金沢泉丘高等学校出身

高く見えるハードルも、
挑戦すれば案外越えられる。
挑戦が道を拓きます

熱い想いを抱える人こそ、ぜひ挑戦を！

大澤 最後に、京都大学を志願する後輩にメッセージとエールをいただけますか。

石田 受験期は目の前の勉強に一所懸命になるあまり、入学後の目標を見失いがちです。合格を目的にするのではなく、特色入試をきっかけに、自分はなにをしたいのか、どう生きたいのかという根幹を深く掘りさげてください。きっと、これからの学びに

生きてくるはずですよ。

倉場 数学オリンピックの出場や、なにかの賞の受賞など、わかりやすい実績がなくとも合格できます。高校時代の私も顕著な成果はありませんでした。でも、特色入試は、過去ではなく、「これからどうしたいか」という未来への熱意を評価してもらえる。きっとこれからの自信にもつながるはずです。

折笠 理学部の数学の試験問題がむずかしく、受験者の中には、数学オリンピックやさまざまな数学コンテストに出場経験のある人もいますが、気負わずに、リラックスして、試験を楽しむ心境で挑戦してください。

徳田 特色入試に限らず、目の前のハードルを高く感じることもあっても、挑戦してみると案外クリアできることはたくさんありますよ。可能性を自ら狭めるのではなく、手当たりしだいに試すことも自分の道を拓くきっかけの一つです。

佐々木 特色入試の受験を考えているなら、「受かるかどうか」ではなく、「楽しめるかどうか」が重要なんです。合格のためだけに、それらしい理由や意義を掲げるだけではおもしろくない。嘘をつかずに、自分の気持ちをだいにできるのが特色入試のよさです。拙くても、「これが自分だ」と伝えてください。

森下 一般選抜のように充分に対策をとれば結果に結びつくかという、かならずしもそうではない。不合格だったら、一般選抜に切り替えればよい。気負うことなくチャレンジできる人には、とくにピッタリの選抜方法だと思います。

大澤 将来を見据え、困難に真摯に取り組むことができるのは若者の特権です。これからも、皆さんの夢にむかって邁進してください。

本日はありがとうございました。

入学後の学びの軸に

掘り下げた興味・関心、夢が、

特色入試を機に



石田 早侑梨さん
農学部資源生物科学科 2回生
滋賀県 滋賀県立膳所高等学校出身



令和4年度京都大学特色入試の受験を検討されている皆さんへ

京都大学特色入試は、能力、学ぶ意欲、志を多面的・総合的に評価する本学独自の選抜方式です。本学を志願する皆さんの、これまでの学びの活動等における努力のプロセスや、京都大学で学ぼうとする意欲を積極的に評価します。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束せず、その影響は、一部の学部・学科が出願・推薦要件として成績提出を課している英語外部資格・検定試験の実施が中止・延期される、また、各学部・学科が求めている学びの活動等に取り組むための課外活動が十分に実施できないなどの事態に及びました。

このような状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症のこれまでの影響や今後の状況等により出願・推薦要件や選抜方法・提出書類等を変更する場合があります。

令和4年度特色入試の実施に関する最新情報については、令和3年7月頃に公表する特色入試募集要項や本学Webサイトを必ずご確認ください。

(特色入試Webサイト) <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>

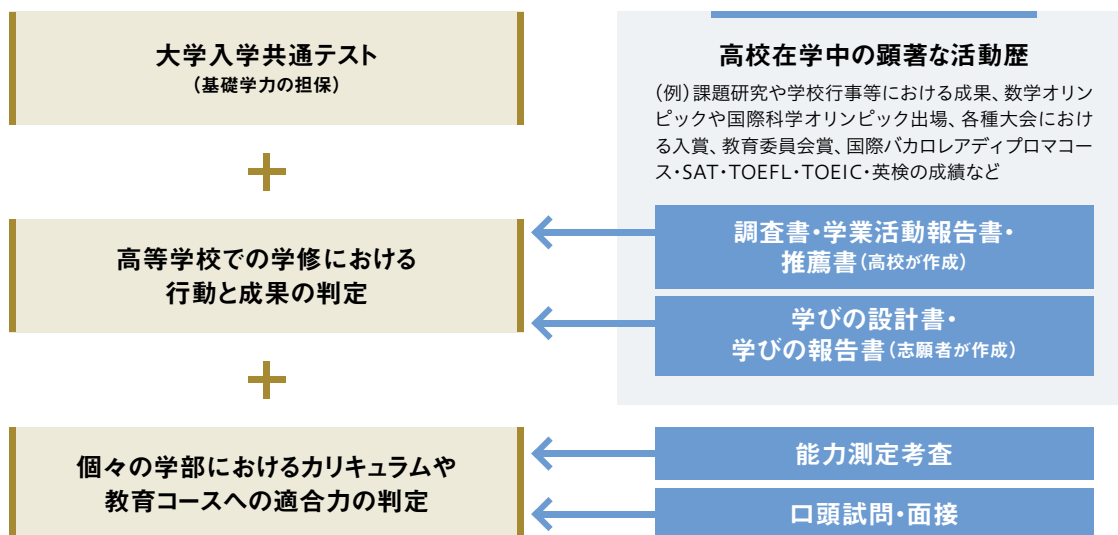
京都大学特色入試は

能力

・ 意欲

・ 志

を多面的・総合的に評価する大学入学選抜です



学部・学科・コース別の選抜概要

学部・学科・コース		募集人員	選抜方法	試験実施方式	提出書類	
総合人間学部		5人	書類審査、能力測定考査(文系総合問題、理系総合問題)、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	
文学部		10人	書類審査、「学びの設計書」に関する論述試験、論文試験、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	
教育学部		6人	書類審査、課題、口頭試問、共通テスト	総合型選抜	調査書、学びの報告書、学びの設計書	
法学部		20人	書類審査、小論文、共通テスト	後期日程	調査書	
経済学部		25人	書類審査、論文、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの設計書	
理学部		数理学部入試 5人 生物科学入試 5人	書類審査、数学、口頭試問、共通テスト 書類審査、口頭試問、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの報告書 調査書、学業活動報告書、学びの報告書	
医学部	医学科	5人	書類審査、口頭試問、面接、共通テスト	学校推薦型選抜	調査書、推薦書、学びの設計書、TOEFL iBTスコアレポート、特色事項に関する資料	
	人間健康科学科	先端看護科学コース	20人	書類審査、論文、面接、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの設計書
		先端リハビリテーション科学コース(先端理学療法学講座)	5人			
		先端リハビリテーション科学コース(先端作業療法学講座)	5人			
薬学部	薬科学科	3人	書類審査、論文、面接、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL iBTもしくはIELTS受験者成績書または実用英語検定(英検)合格証明書 調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL iBTもしくはIELTS受験者成績書または実用英語検定(英検)合格証明書	
	薬学科	3人	書類審査、論文、面接、共通テスト			
工学部	地球工学科	3人	書類審査、共通テスト	学校推薦型選抜	調査書、推薦書、学びの設計書 調査書、推薦書、学びの設計書 調査書、推薦書、学びの設計書 調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要 調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要 調査書、推薦書、学びの設計書、顕著な活動実績の概要	
	建築学科	2人	書類審査、共通テスト			
	物理工学科	5人	書類審査、共通テスト			
	電気電子工学科	7人	書類審査、共通テスト			
	情報科学科	3人	書類審査、口頭試問、共通テスト			
	工業化学科	7人	書類審査、共通テスト			
農学部	資源生物科学科	3人	書類審査、面接、共通テスト	総合型選抜	調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL iBTもしくはTOEIC L&R受験者成績書または実用英語検定(英検)合格証明書 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 調査書、学業活動報告書、学びの設計書 調査書、学業活動報告書、学びの設計書、TOEFL iBTもしくはIELTSもしくはTOEIC L&R受験者成績書または実用英語検定(英検)合格証明書	
	応用生命科学科	4人	書類審査、小論文、面接、共通テスト			
	地域環境工学科	3人	書類審査、小論文、面接、共通テスト			
	食料・環境経済学科	3人	書類審査、小論文、共通テスト			
	森林科学科	5人	書類審査、小論文、面接、共通テスト			
	食品生物科学科	3人	書類審査、口頭試問、共通テスト			
合計		165人				

可能性をつむぎだす
「学びのらせん」

「京大に行こう!」。
そう思った日からはじまる一人ひとりの物語。
近道ばかりじゃもったいない。
みちくさ・寄り道、まわり道、
ときには迷路に迷い込むかもしれない。
無限の可能性をつむぎだす「学びのらせん」。
その一歩をふみだそう。



学びのかたちは自由自在、ゴールは無限

≫ まずは気軽に京都大学の扉を開いてみよう!

『紅朮(くれなゐもゆる)』広報誌・特設サイト

おもしろい授業や研究内容、学生の活躍ぶり、卒業生からのメッセージなど、「京都大学の現在」がぎゅっとつまっています。
→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/kurenai/>



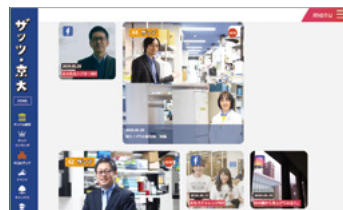
京大先生シアター

京大のユニークな先生、研究が動画で丸わかり!
→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/explore/theater/>



ザッツ・京大

「自由の学風」がもたらす、さまざまな京大「らしさ」満載!
→ <https://www.thats.pr.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学受験生ナビゲーション

京大に関するコンテンツや学部・学科紹介など、受験にあたり参考となる情報をワンストップで確認できるポータルサイト。
→ https://www.kuac.kyoto-u.ac.jp/navi_grad/



個性的で多様な学生たちが切磋琢磨するキャンパスへ 京都大学特色入試

高校での学修における行動や成果、および個々の学部の教育を受けるにふさわしい能力と志を総合的に評価する「京都大学独自」の選抜方式です。

→ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>
→14ページ参照

原石は、まばゆい色を秘めている。



京都大学 特色入試



全学共通科目の

開講数は897科目！※

入学後すぐに、すべての学部で国際高等教育院による「教養・共通教育」が行われます。

専門科目を学ぶ前に、あるいは専門科目と並行しながら、文理や専門を問わず幅広く学習します。

学部の枠組みをこえて、右の8つの科目群から授業を選択します。

※開講科目数は2021年度実績です。
2022年度はこの限りではありません。

→ <https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>



教養

キャリア形成科目群

国際コミュニケーション
学芸員課程
地域連携
その他キャリア形成

全35科目

外国語科目群

英語 スペイン語
ドイツ語 朝鮮語
フランス語 アラビア語
中国語 日本語
ロシア語 (外国人留学生対象)
イタリア語

全163科目

言語力

健康・スポーツ科目群

健康・スポーツ科学
スポーツ実習

全46科目

自然科学科目群

数学 生物学
データ科学 地球科学
物理学 図学
化学

全251科目

情報科学科目群

情報基礎
情報基礎演習

全52科目

人文・社会科学科目群

哲学・思想 地域・文化
歴史・文明 法・政治・経済
芸術・文学・言語 外国文献研究
教育・心理・社会 日本理解
(外国人留学生対象)

全325科目

全23科目

統合科学科目群

統合科学
環境
森里海連環学
その他統合科学

264クラス

全2科目

知力

少人数教育科目群 ILASセミナー

医療 社会学 豊かさ
言語教育 過疎問題 エネルギー需給
東洋史 地震 海洋生物
日本古典 天文学
政治学 文化人類学

ILASセミナー
ILAS Seminar-E2
ILASセミナー(海外)
※ILASセミナー(海外)は
2021年度不開講

与えられて学ぶ生徒から みずから求めて学ぶ学生へ

学生たちの主体性に応える「柔軟な学び」が特徴の京都大学。
自身で見つけた道を
能動的に歩んでほしいと願っています。

紅萌祭 クラブ・サークル の選択

教養・ 共通教育

学部ごとの 専門教育

- クラブ・サークル活動
- 海外留学
- 国際交流

■ 紅萌祭

先輩たちが新入生を歓迎するイベントです。多くのクラブ、サークルなどの団体が参加しパフォーマンスを披露しながら、それぞれの活動をアピールします。

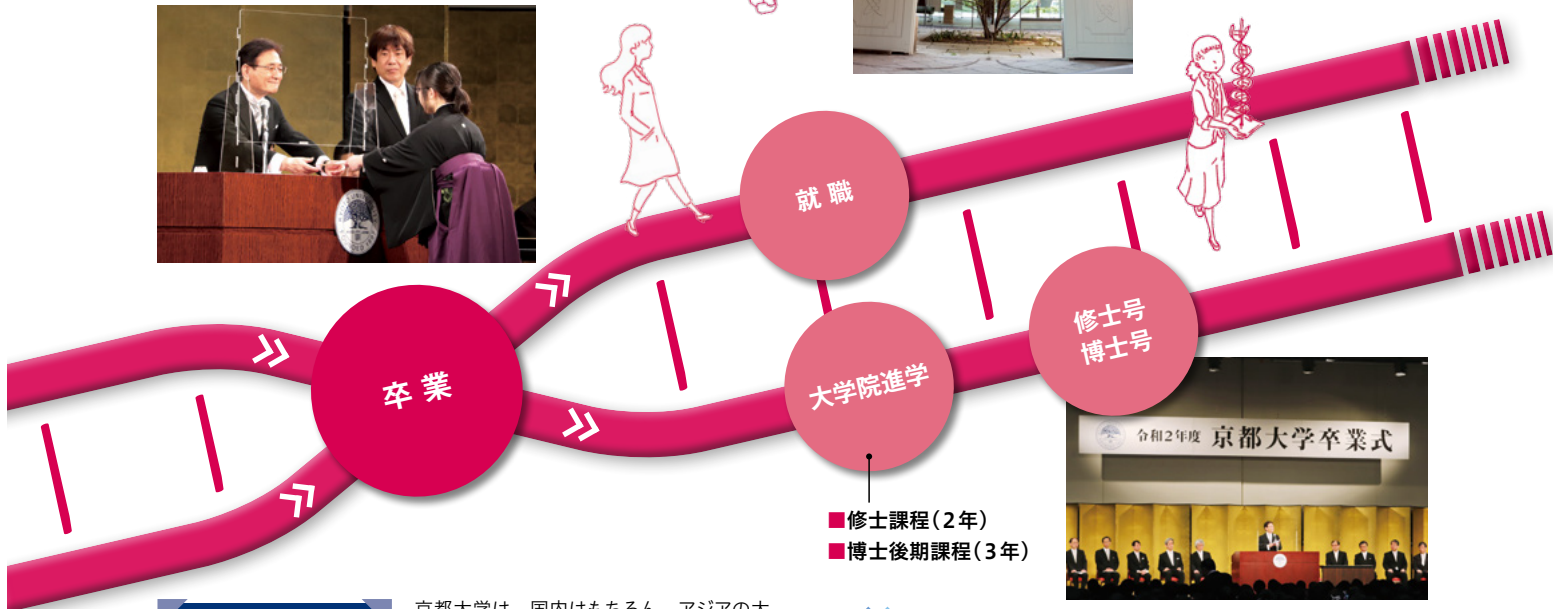
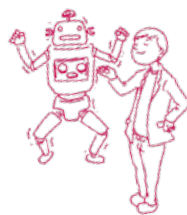


■ 専門科目、 実習・演習の充実



もっと知りたい、究めたい。

充実した大学院教育、
日本一を誇る研究所群をそなえる京都大学には、
各分野の卓越した研究者が多数在籍。
ノーベル賞をはじめ、名だたる国際賞の受賞者も
数多く輩出しています。



京都大学にゆかりのある
**11人の
ノーベル賞
受賞者**

京都大学は、国内はもちろん、アジアの大学で最多となる11名ものノーベル賞受賞者を輩出しています。その要因のひとつは「自由の学風」に基づく「対話を根幹とした自学自習」が促す創造精神の涵養にあります。しかもそれは、創立120余年を迎える京都大学にいまなお、しっかりと息づいています。11名の先達と同様に、だれもが次のノーベル賞受賞者になりうのです。



1949年
物理学賞
湯川 秀樹



1965年
物理学賞
朝永 振一郎



1981年
化学賞
福井 謙一



1987年
生理学・医学賞
利根川 進



2001年
化学賞
野依 良治



2008年
物理学賞
益川 敏英



2008年
物理学賞
小林 誠



2012年
生理学・医学賞
山中 伸弥



2014年
物理学賞
赤崎 勇



2018年
生理学・医学賞
本庶 佑



2019年
化学賞
吉野 彰

世界トップクラスの研究の現場 個性豊かな研究所・研究施設(一部)

日本一の多様性を誇る 13の附置研究所

- 化学研究所
- 人文科学研究所
- ウイルス・再生医科学研究所
- エネルギー理工学研究所
- 生存圏研究所
- 防災研究所
- 基礎物理学研究所
- 経済研究所
- 数理解析研究所
- 複合原子力科学研究所
- 霊長類研究所
- 東南アジア地域研究研究所
- iPS細胞研究所

高等研究院

- 物質—細胞統合システム拠点
- ヒト生物学高等研究拠点

全国共同利用施設

- 学術情報メディアセンター
- 放射線生物研究センター
- 生態学研究センター
- 野生動物研究センター

学内共同教育研究施設

- 高等教育研究開発推進センター
- 総合博物館
- フィールド科学教育研究センター
- 福井謙一記念研究センター
- こころの未来研究センター



「学びの世界」は奥深く、「知の誘惑」は果てることなし。
「学びのらせん」のその先は、あなたの想像力しだい。

すべてのスタート、
「10学部の窓」を開いてみよう。>>>